「男性の育児参加促進事業」への取り組みについて

急速な少子高齢化の進展により生産年齢人口の減少による労働力不足や社会の活力の減退など、わが国の未来への影響が懸念されています。そうしたことから出産・育児をしやすい環境を作っていくことが大きな課題となっており、企業においても社会の一員として出産・育児を支援していくことが求められています。

当金庫においては平成19年6月に財団法人２１世紀職業財団より「男性の育児参加促進事業実施事業主」に指定され、女性職員に加え「男性職員の育児参加」についても積極的に支援していくことを決定いたしました。

初年度は研修等を活用し、当金庫の育児支援の諸制度を周知、また仕事と家庭との両立の重要性を徹底し、男性が育児に参加できる職場環境の改善に取り組みました。
2年目の今年度は初年度と同様の研修を継続して行うほか、庫内報を通じ当金庫の育児支援の諸制度を周知するとともに、実際に育児をする職員に諸制度の利用を促し、その者の上司に対してもサポートするよう指示すること等を行い、さらに仕事と家庭との両立がし易い職場環境を作っていきます。

当金庫の経営理念は「健全経営に徹し、豊かな地域づくりに貢献する」です。
地域とともに生きる信用金庫として、職員一人ひとりがよき"家庭人"としてこの地域の中で生きる、延いてはそれが、当金庫が地域への貢献を果たすことの一つと考え、「男性の育児参加」に取り組んでいきます。

長野信用金庫
理事長　原　徹爾